



お世話になりました 学校評議員会

21日(木)に、第2回学校評議員会を開催いたしました。今回は2名の方が欠席され、4名での実施となりました。

校長からは、学校運営についてこの1年間を振り返ってお話をいたしました。1学期は、1カ月にわたる臨時休業があったこと。その間家庭訪問等で、児童の状況を確認したり、課題を配付したりしたこと。休業明けは、検温やマスク着用の保護者への協力依頼、手洗い・手指消毒の徹底と校舎内の消毒作業や室内の換気など、感染防止対策に取り組みつつ、各種行事の中止や延期などで教科学習を中心に授業の遅れを取り戻したこと。

短い夏休み後の2学期は、徐々に本来の教育活動が展開できたこと。いわきへの修学旅行・宿泊学習は5・6年の子どもたちに良い思い出を残すことができたこと。10月の陸上競技交歓会を旨として、夏休み明けから一生懸命練習に取り組んだこと。そして、人数制限をしながらも、運動会を実施できたこと。

様々な行事を中止したり、延期したりしながらではありましたが、なんとか、3学期を迎えることができて、学年のまとめをがんばっていることをお知らせいたしました。

その後、各学年の学習の様子を見ていただきました。学校評議員さんの多くは保護者の方々であるため、「〇〇君のお父さんだ。」とか、「〇〇さんのお母さん、こんにちは。」と、子どもたちは、元気にあいさつしてくれました。

校長室に戻り、教頭より学校評価の結果について説明いたしました。児童によるアンケート結果、保護者の皆様によるアンケート結果、そして教職員によるアンケート結果の説明と、各課題に対する解決策等を説明させていただきました。

その後、ご出席いただいた学校評議員の皆様から、以下のようなお話をいただきました。

- ・ 新型コロナウイルスの関係からか、1学期は子どもたちがピリピリしていた。しかし、2学期は、落ち着いてきたように感じた。先ほどの説明にあったが、学校行事などが徐々にできるようになって、目標を持った活動をできるようになったためであると改めて感じた。
- ・ 横断歩道を渡るために止まってくれた車のドライバーにお辞儀をできる三和っ子(穂積小もそうですが)は素晴らしい。町の子はそんなことはない。
- ・ 今年、もう少し授業参観を増やしてほしい。
 - 保護者アンケートでも、「見たかった」派と安全面を考えて「実施しない方が良い」派の二つの意見があった。節目となる最後の授業参観は、感染対策をして実施させていただきたい。次年度は、例年通りの計画を検討しているが、状況に応じた開催となる。「見ていただきたいが、感染防止も大切である」と考えているので、その都度検討していきたい。「計画なし」ということは、考えない。
- ・ 奉仕作業等で、今年は先生方に負担をかけた。令和3年度は、そうした負担をなくしたい。
 - 今年度については特殊なケースなので、次年度は学校側と保護者側と検討しながら進めていきたい。

